

## なかよし旬間 ～ひとりひとりを大切に～

校長講話 11月15日

クマの国にすむ小学生のりつは、かわいいものがだいすきな男の子です。でも、そんなりつをどうきゅうせいはわらいます。「男のくせに、花がすきなんてへんなの。スカートをはきたいなんておかしいよ。先生もだれも助けてはくれません。」

(LGBT についての説明)～中略～

今、こうやってりつがいじめられているのですが、多くの方は自分と反対の性、(性という言葉、男とか女とかいうこと)、男の子だったら女の子を、女の子だったら男の子を気になります。そうじゃない人もいます。そういう人のことを LGBT と言います。そういう人たちはたくさんいるわけではありません。そして、自分のことをみんなの前で、ぼくはこうだよと言うことを、とても勇気がいることなので、言えません。なぜだか分かりますか？多くの人たちは、自分とはちがうということについて、いじめられるんじゃないかなって、そういう心配をもっています。多くの人とちがうことで、からかわれたり、ばかにされたりすること、そういうことがあるかもしれないけど、とても悲しいことだよ。今日はそういうお話をします。

「ぼくは、好きなものを好きって言いたいただけなのに…」涙がぼろりとこぼれました。「そうだ、クマの国じゃないところに行こう。」りつはクマの国をとびだしました。たくさん歩いたりつは、黒の国につきました。黒の国では、だれでも全身真っ黒。やわらかそうな明るいクリーム色のりつにみんなが言いました。「なんで黒色じゃないの？変な色。」黒の国でも仲間外れにされたりつは、なきながら黒の国をとびだしました。

前よりももっとたくさん歩いたりつは、ツンツンの国につきました。今度はいろいろなクマがいます。背の高いクマ、低いクマ、白いクマ、「ここなら変だって言われなくても。」りつをツンツンの国の人々が囲みました。「君の毛はツンツンじゃない。かっこう悪からツンツンにしなよ。」りつは、自分のふわふわの毛が大好きでした。ツンツンになんてしたくありません。ツンツンの国でも仲間外れにされたりつは、なきながらツンツンの国をとびだしました。

どのくらい走ったでしょうか。りつは明るい光を感じました。なんだかキラキラした世界が見えます。りつは、一生懸命走って、キラキラしたとびらの中に入りました。「ここはなんていう国ですか。」「にじの国ですよ。ここは誰もが大事にされる。」通りかかったねずみのチューが教えてくれました。「大事にされるってどういうこと？人とちがうことで意地悪されないの？」また、仲間外れにされるかもしれない。りつは不安でした。チューはにっこり笑って答えました。「ちがうこと？ちがうことはすてきなことだよ。だってこんなに背の小さい私は、高いところのものはとれないでしょ。でも、君ならとってくれるよね。反対に君のふわふわな大きな手では、狭いところに入ったものはとれない。でも、わたしならすき間に入って取ってこられる。わたしたちはちがうからこそ助け合えるんだよ。ちがうってとてもいいことですよ。」りつはまた、なみだがこぼれました。ここにいれば、ぼくはぼくのままでいいんだ。「ずっとここにいていいんだよ。」にじの国の人たちは、りつにやさしく言いました。

にじの国はどんなところでしたか？そうだね、ちがうことを大切にすることだよ。人とちがうことで差別をしたり、いじめをしたりしない。それよりもちがうことをいいことにしているね。だれのことでも大事にしている。そこがすごいですよ。自分と人をくらべない。自分らしく生きていける世界。そういう世界でしたね。りつが安心してくらせる国にたどり着いてよかったですね。でもお話はまだ続きます。このあとりつはまたクマの国に戻ります。だいじょうぶかなあ。心配だよ。りつがどうなったかなあ、みてみますよ。

でもりつは決心しました。ぼくは、クマの国にもどる。りつはもう泣いていませんでした。「これを持っていくといいよ。りつの国にもにじがかかるといいね。」チューはにじの国のにじからとれたにじのたねをわたしました。クマの国にもどったりつは学校に行きました。校庭のイチョウの木の下で、りつに意地悪をしていた男の子たちがまるくなって集まっています。「お母さんに作ってもらった大切なシャツなのに。」真ん中で泣いていたのは、力持ちのソラタでした。どうやら木登りをしていて、大切なシャツをやぶってしまったようです。周りにいた男の子たちは、困ったように見ているだけです。だって、ぬいものができるなんて男らしくないから。りつは、チューにもらったにじのたねをにぎりしめました。なんだか手のひらがあたたかくなって、勇気がわいてきました。「ぼくがなおしてあげるよ。シャツをかして。」みんなはびっくりしてりつを見ました。「できるものならやってみよう。」ソラタは乱暴にシャツをわたしました。りつは、ポシュエットからとりだした針と糸でスイスイと星のワッペンをぬい始めました。周りにいた子たちも、ソラタも目をまるくして見えています。ほら、もどおり。すてきなシャツだね。ぬいおえたりつがにっこり笑いました。「ちがうってすてきなことですよ。」男の子たちとソラタは、だまってうなずきました。「シャツのお礼にりつの花だんをつくってやるよ。」ぶっさらぼうにいうソラタは大好きな星のワッペンがもどおりになってとてもうれしそうです。りつをかこぶ男の子たちの顔も笑顔に変わっていました。りつの手の中にあつたにじのたねはいつの間にか消えていました。

終わりです。にじのたねって何だったんだろうね。お話を聞いて、感じたこと、思ったこと、気になったこと、いいなと思ったことを教えてくれるとうれしいです。



現在「なかよし旬間」を実施しています。人権にかかわる様々な視点から全校で学習を進めています。また、11月14日(火)の授業参観後に、講師 広沢 里枝子様をお招きして、PTA 人権講演会を実施しました。目が見えていないことってどういうことなのかを広沢先生の言葉や、人柄から学びました。

**PTA 人権講演会 広沢先生の話から「目が見えないって、どういうこと？」を聞いて【6年生の感想から1部抜粋】**

不自由だけど、不幸ではないと思うと言っては、感動しました。  
 今日のお話を聞いて、上手く言えないけど「みんな同じ」と感じました。生活するのに、不便さや大変さは私たちが想像できるものではないけれど考えたり、感じたり、この社会に生活していくことはみんな同じだと思いました。  
 広沢さんの明るい声が本当にステキだと思いました。最後の歌もきれいな歌声で全校のみんなを笑顔にしていました。周りの人にもできることがあると知って、目の見えない人が困っていたら、今日学んだやり方でお手伝いしたいです。自分は障害のある人に、ただかわいそうと思っているのではなくて、助け合うことが大事だと気がつきました。  
 同じく「人間」に生まれてきたのに、なぜ差別をされないといけないのかと感じました。  
 おどろいたことが、点字ですらすら読めていて、努力しているからだと思いました。  
 400年という歴史ある音楽を聞いて、とても感動しました。来てくれてありがとうございました。  
 目が見えなくて、不便なときもあるけど、楽しいこともあるということが分かりました。

**♪ 音楽鑑賞教室 ♪**



11月1日(水)

Jスコラーズの歌による音楽鑑賞教室を実施しました。コロナ禍で歌いたいのになかなかできなかった時の思いも込めて、歌っていただきました。子どもたちとも歌い、歌を楽しんだ1時間でした。

**6年生 修学旅行**



11月8日(水)～9日(木)に、6年生は東京方面へ修学旅行に行ってきました。

★小学校生活のかけがえのない思い出を作ることができました。ご協力に感謝します。

**★お知らせ★**

コロナ禍において、濃厚接触者等の理由で学校をお休みしなければならいこともあり、クロムブックでのリモートの授業をうけることを行ってきました。コロナの5類指定をうけて、以前の状態に戻し、コロナやインフルエンザ等で出席停止の場合は、十分体を休めていただき、クロムブックによるリモートで授業を受けることは原則行いませんので、あらかじめご了承ください。

**☆学習ボランティア募集☆**

本年度の重点活動として「ふるさととともに」活動することを通して、地域に開かれた学校、地域の方と交流する子どもの活動の充実を目指しています。クラブではたくさんの地域の方が講師となってくださり、ご活躍いただきました。ありがとうございました。クラブ活動以外にも、教科学習・総合的な学習の時間・調理活動・習字・ミシン等、常時学習ボランティアを募集していますので、気軽に学校へ連絡していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

**◆12月の主な予定**

1日	(金)	児童会祭り	スクールカウンセラー来校予定日 12/12(火) 13:30～16:30	
4日	(月)	読書旬間 ～15日まで		
7日	(木)	児童会委員会	下校 1～3年生 15:15	4～6年生 16:05
18日	(月)	学期末清掃開始 ～23日まで		
27日	(水)	2学期終業式	下校 15:15	5時間授業
1/9	(火)	3学期始業式	下校 14:10	4時間授業 給食あり

次回の発行予定日は 12月20日(水) です。 文責：教頭 岩崎 朗